

**令和5年度 卒業者に対する
在学期間中の学生生活についての調査
結果報告書
服飾学科**

**杉野服飾大学
FD 研究委員会**

I. 調査について

調査日 令和6年1月19日～2月13日

調査対象 令和6年3月卒業者 服飾学科146名、服飾表現学科25名

回答者数

	人数	回答人数	回答率
服飾学科	146名	136名	93.2%
服飾表現学科	25名	23名	92.0%
合計	171名	159名	93.0%

調査方法 各コース主任の説明後、アンケートソフトクwestionsを使用し、学生個人のスマートフォンから回答。無記名式で選択肢選択及び自由記述。

5段階評価（1が最低、5が最高）

II. 回答者の属性

入学方法	種別	人数（人）	%
	AO入試	73	53.7
	指定校推薦	39	28.7
	公募制推薦	0	0.0
	一般入試	7	5.1
	センター入試	5	3.7
	編入学	12	8.8
	合計	136	100.0

コース		人数（人）	%
	モード（北折）	31	22.8
	モード（安部）	26	19.1
	インダストリアル	11	8.1
	テキスタイル	11	8.1
	プロダクトデザイン	14	10.3
	ビジネスマネジメント	25	18.4
	流通イノベーション	18	13.2
	合計	136	100.0

Ⅲ. 学生による5段階評定の数値報告

* 質問1はコース名、質問2は入学時の入試種別(結果は前ページに記載)

質問3. 本学の授業には満足できましたか。

(質問3-①) 専門科目における知識・感性・技術の修得

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	4.07	4.06	3.95	3.99	4.28	4.16	4.17	4.39

(質問3-②) 専門科目の教員の授業・指導

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	4.02	3.93	3.84	3.77	4.19	3.90	4.02	4.27

(質問3-③) 教養科目における知識・教養の会得

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.56	3.77	3.83	3.83	4.19	3.91	4.04	4.13

(質問3-④) 教養科目の教員の授業・指導

	3.41	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.21	3.63	3.86	3.84	4.16	3.84	4.04	4.24

(質問3-⑤) 教室の環境・設備

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.12	3.06	3.16	3.16	3.56	3.17	3.37	3.57

質問4 以下の項目についてどのように感じていますか。

(質問4-①) コンピューターを用いた授業は役に立ちましたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.78	3.60	3.89	3.98	4.28	4.04	4.15	4.40

(質問4-②) 教務課員の対応は丁寧でしたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.60	3.17	3.61	3.33	3.95	3.82	3.96	4.08

(質問4-③) 学生課員の対応は丁寧でしたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.85	3.77	3.96	3.85	4.13	4.14	4.20	4.30

(質問4-④) 就職課員の対応は丁寧でしたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.04	3.16	3.29	3.72	4.03	4.04	4.06	4.26

(質問4-⑤) 図書館員の対応は丁寧でしたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.04	3.16	3.29	3.72	4.03	4.15	4.18	4.27

(質問4-⑥) 購買部の品数は十分でしたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.45	3.19	3.22	3.55	3.83	3.56	3.50	3.81

(質問4-⑦) 自習室は役に立ちましたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.59	3.31	3.80	3.79	3.95	3.38	3.63	令和5年度質問なし

(質問4-⑧) 談話室は快適でしたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.16	2.84	3.43	3.21	3.79	3.17	3.50	令和5年度質問なし

(質問4-⑨) 学食・コンビニの品数は十分でしたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	2.81	2.63	3.15	2.96	3.21	令和3年度より質問なし		

(質問4-⑩) 大学祭やクラブ、サークル活動に積極的に参加しましたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	2.91	2.79	3.17	2.85	3.31	2.65	2.60	令和5年度質問なし

(質問4-⑪) 友人関係や先輩・後輩との関係は良好でしたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.86	3.68	3.97	3.79	4.09	3.95	3.93	4.34

(質問4-⑫) 就職活動に関して本学の指導は行き届いていましたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.19	2.92	3.23	3.02	3.02	3.17	3.17	3.84

質問5 今回コロナウイルス問題は、以下の項目にどう影響しましたか。

(質問5-①) 授業に関してやる気は上がりましたか。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	2.52	2.62	2.67	3.10

(質問5-②) 就職活動に関してやる気は上がりましたか。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	2.30	2.50	2.73	3.07

(質問5-③) 卒業制作に関してやる気は上がりましたか。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	2.95	3.18	3.19	3.59

(質問5-④) 資格取得に関してやる気は上がりましたか。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	2.61	2.84	2.94	3.54

質問6 コロナウイルス問題に対する本学の対応は適切でしたか。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	3.26	3.00	3.19	3.71

質問7 あなたが学生生活で力を入れたものはどれですか。(複数回答可)

*28年度183名、29年度129名、30年度133名

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学業	60.1%	70.5%	75.9%	78.9%	77.2%	82.9%	73.4%	84.6%
アルバイト	40.4%	50.4%	58.6%	52.3%	49.7%	38.6%	52.5%	51.5%
資格取得	9.3%	20.2%	14.3%	14.1%	15.4%	12.1%	13.0%	25.0%
クラブ・サークル活動	6.0%	14.7%	16.5%	3.1%	8.1%	7.1%	6.5%	2.2%
コンテスト参加	3.8%	16.3%	6.8%	10.9%	6.7%	5.7%	5.8%	9.6%

質問8 在学中に取得した資格は何ですか。(複数回答可)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ファッション色彩能力検定	27	26	12	16	33	69	86	90
ファッションビジネス能力検定	13	8	5	6	7	8	5	30
ファッション販売能力検定	43	29	7	6	7	24	22	48
パターンメイキング技術検定	15	12	4	12	5	17	19	13
フォーマルスペシャリスト認定 プロンズライセンス	10	23	12	5	3	2	0	4
CG検定	1	1	0	0	0	0	0	2
ブライダルファッションプランナー	3	3	7	3	4	5	1	1
その他	8	4	9	32	15	8	18	19
延べ合計数	120	106	56	80	74	133	151	207

質問9 総合的に見て、本学での学生生活には満足できましたか。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均評点	4.14	3.92	4.20	3.99	4.01	3.85	3.88	4.21

令和5年度卒業生アンケート結果

コース名	北折クラス	安部クラス	インダストリアル	テキスタイル	プロダクト	マネジメント	流通イノベーション	合計
回答数	31	26	11	11	14	25	18	136

平均値								
	全体平均値	北折クラス	安部クラス	インダストリアル	テキスタイル	プロダクト	マネジメント	流通イノベーション
専門科目の知識感性 技術の習得	4.39	4.29	4.50	4.55	4.36	4.16	4.20	4.00
専門科目教員の 授業・指導	4.27	4.35	4.12	4.27	4.27	3.64	4.20	3.83
教養科目の 知識教養の会得	4.13	4.23	4.19	4.55	4.18	3.50	3.92	3.83
教養科目の教員の 授業・指導	4.24	4.29	4.35	4.18	4.27	3.50	4.00	3.83
教室の環境・設備	3.57	3.55	3.15	4.45	2.91	3.90	3.76	3.17
コンピューターの授業は役 に立ったか	4.40	4.35	4.27	4.82	4.27	3.86	4.24	4.06
教務課の対応は丁寧か	4.08	4.32	4.04	4.36	4.00	3.43	3.88	3.28
学生課の対応は丁寧か	4.30	4.16	4.15	4.55	4.18	3.71	4.28	4.06
就職課の対応は丁寧か	4.26	3.90	4.50	4.36	3.91	3.91	2.84	4.11
図書館の対応は丁寧か	4.27	3.97	4.54	4.64	4.55	3.29	4.24	3.72
購買部の品数の満足度	3.81	3.55	4.00	3.82	4.27	2.86	3.64	3.56
友人関係、先輩後輩との関 係は良好か	4.34	4.16	2.62	4.45	4.27	3.93	4.08	3.94
就職活動の指導は 行き届いていたか	3.84	3.45	3.85	3.82	3.45	3.84	4.16	3.83
学生生活の満足度	4.21	4.13	4.19	4.36	4.18	3.86	4.12	3.56

令和5年度卒業生アンケート結果

コース名	北折クラス	安部クラス	インダストリアル	テキスタイル	プロダクト	マネジメント	流通イノベーション	合計
回答数	31	26	11	11	14	25	18	136

合計数

	全体合計数	北折クラス	安部クラス	インダストリアル	テキスタイル	プロダクト	マネジメント	流通イノベーション
学生生活で力をいれたもの 学業	115	27	25	8	9	12	18	13
学生生活で力をいれたもの コンテスト参加	13	2	4	2	0	2	2	0
学生生活で力をいれたもの 資格取得	34	7	4	7	6	2	5	3
学生生活で力をいれたもの クラブサークル活動	3	2	0	0	0	0	1	0
学生生活で力をいれたもの アルバイト	70	19	11	4	3	4	16	12
学生生活で力をいれたもの その他	1	0	0	0	0	0	0	1
在学中に取得した資格 色彩能力検定	90	30	21	5	9	13	7	2
在学中に取得した資格 ファッションビジネス 能力検定	30	1	0	0	0	1	24	3
在学中に取得した資格 ファッション販売能力検定	48	5	4	2	1	1	20	14
在学中に取得した資格 パターンメイキング 技術検定	13	1	0	11	0	0	0	1
在学中に取得した資格 フォーマルスペシャリスト	4	0	3	0	0	0	0	1
在学中に取得した資格 CG検定	2	0	1	0	0	0	0	1
在学中に取得した資格 ブライダルファッション プランナー	1	0	0	0	0	0	0	1
在学中に取得した資格 その他	19	2	4	1	3	4	1	4

2023 年度 卒業生アンケート結果へのコメント

コース名： モードクリエイションコース

担当者： 北折 貴子

① 回答の分析結果数値をみて

- ・本学の学生は AO 入試（現在の総合型）と指定校推薦で約 80%以上になる。このことからこの 2つの入試には特に力を入れていきたい、
- ・授業の満足度・専門及び教養指導・知識、教養の会得、環境・設備に関してやその他の設問に関してすべて以前より良い結果となっている。今後もよりよく向上を目指したい。
- ・大学時代一番力を入れたのが学業であったことも喜ばしい。ただし、クラブサークルやコンテスト参加などは大変少ないが、この学年は 3年間コロナ禍で遠隔授業など今までと違う大学生活を送ったことを考えるとやむを得ないと思う。

② 自由記述について

- ・入学当初の目標に約 7～8割の学生が到達できたことに安堵している。さらに未到達の学生が出ないように今後検討して面談を増やし、細かく指導していきたい。
- ・冷暖房や、トイレの石鹸が薄い、ロッカー移動が大変など管理課に関する事項が多いが、現在第 3校舎は空調工事をしており、冷暖房は解決すると思われる。またロッカーに関しても今後場所や使用方法を検討中です。
- ・教員名及び教科名がわからないので、先生によって言っていることが異なるや、毎週遅刻してくる教員が特定できないが、今後聞き取りを行い改善していきたい。

2023 年度 卒業生アンケート結果へのコメント

コース名： モードクリエイションコース

担当者： 安部 智子

「服をつくれるようになる」という希望や目標をもって入学し、「服がつくれるようになった」と感じて卒業していく学生が多かったことがアンケートの自由記述からうかがえ、数値からも同様の結果が得られたのは良かったと感じている。もちろん、深く探っていけば様々な思いがあるとは思いますが、入学時に目標としていたことが、概ね到達できたと感じて卒業してもらえることは何よりである。また、総合的な大生活の評価が概ね満足してもらえたようで、安堵した。

ただ 1 点、アンケート結果の中「友人関係、先輩後輩との関係は良好か」の問いに対し、2.62 という低めの数値である点が気になった。ものすごく仲の良いクラスというわけでは無いが、ものすごく雰囲気の良いクラスという訳でもない。強いて言えば仲の良い友人の他に対してそれほど関心がなかったのかもしれない。それとも見えないところで何かがあったのだろうか。今となっては探りようもないが、とても気になる。

コメントの中に「工程だけでなく何故こうするのか、根本的な考え方を教えて欲しかった」とあった。全員が課題内容を理解することを目指すため、できるだけ簡潔に説明を行うようにしていたが、確かに重要なことであると思うので、次年度以降に活かしていきたい。

2023 年度 卒業生アンケート結果へのコメント

コース名：インダストリアルパターン

担当者：住野雅子

パターンメイキング技術検定の資格取得を目指し、コースに入ってくる学生も多くなっており、徐々に意識が変化している兆しが確認できる。授業の内容の変更が、その意識を変える機会となった。

自由記述で助手を増やして欲しいという意見があった。少人数のコースなので、助手を付けるのが難しく、担当の教員とよく対話をし、また、効率化を図る事も大切である。事例として、出席点検票を教員だけではなく、各自で毎回付けさせている等。

専門科目における知識・感性・技術の修得や専門科目の教員の授業・指導の数値が少し良くなっているのは、昨年度よりもコロナの影響が少なくなり、大学に通って教員と対面出来ているからかも知れない。入学式を経験していない学生ではあるが、4年次では対面の授業となっている。遠隔授業も経験しているので、そのような授業に慣れている学生達にとっては、環境の変化に合わせる為に、かなりの努力は必要だったと思われる。自由記述においては、コースで学んだことを記述している学生もあり、習得した事を実感させてくれた。その点においては、さらに向上するように、資料を充実する。

2023 年度 卒業生アンケート結果へのコメント

コース名： テキスタイルデザインコース

担当者： 田口雅子

◆問 3.4.9 について

全体的に評価が上がっていることが見受けられた。コース別の回答を見ても、テキスタイルの学生の回答も良いが、「教室の環境・設備」については低い。設備においては自由記述でも多く取り上げられている。

◆自由記述について

①「設備・環境」について 10 人中 4 名が「冷暖房の効きが悪い」ことを述べ、1 名が「地下やパソコン教室での通信環境の悪さ」について述べている。これらの意見は、コースの教室が第三校舎の地下であることが関係していると言える。授業内では、天井部に溜まる暖かい空気を循環するため、扇風機を回すなどの対応をしているが、教室のドアが多く、また制作中に移動するためドアを開閉し、なかなか温まらない現状はある。建物の構造上のものなので難しいと感じる。

②入学時の目標について 2 名がテキスタイルデザインに関わることを述べ、達成できたと回答している。入学の段階でテキスタイルに興味を持ってもらえたことは、オープンキャンパスや模擬授業、出張授業の成果かと感じるので、引き続きテキスタイルの魅力を伝えたい。また、服づくりにおいて糸や生地 of 段階から学べたという意見を頂けた。その他目標についても、概ね達成できたとの回答だった。

2023 年度卒業生アンケート結果へのコメント

コース名：ファッションプロダクトデザインコース

担当者：肉丸 美香子

全体的に平均値よりも低い数値であり、そのことについては多少意外ではあった。入学時の目標達成に関する質問では80%の学生が「達成できた」と回答しており、とりあえず安心した。さらに検定取得について、色彩検定3級については86.7%、レザーソムリエbasicについては53%であった。

<自由記述について>

・設備関係について

空調に関する不満がかなりありましたが、これに関しては工事が行われる予定になっているので、今後改善されるであろう。

・授業において

「自身の為になる授業とそうでは無い授業の差が大き過ぎる」との記述が1件あった。この件に関しては詳しい説明がないのでどのような状況であったのかは理解できないが次年度へ向けての課題としたい。全体としてこの学年は3年間を通し、デザインに対し苦手意識を抱いた学生が3割近く在籍していたように感じられた。しかし、後期のグループ制作に於いては、それぞれのグループやメンバーが自ら果たすべき役割、内容を考えながら行動していた様子が多く見受けられた。結果として、それらのことが作品の完成度アップにも繋がったと思われる。授業の捉え方も全て受け身であった学生がグループワークを通してデザイン・制作の楽しさに気付き始めた。その過程を見ていた周りの学生達もグループに対して、積極的に協力し応援するような新たな交流も生まれた。

このようなグループ制作による成果を更に高め内容の充実を計れるよう検討を重ねたい。本コースで特に重要なのはデザイン考案に際し、思考の内容をより深め完成度を高める工夫を常に行うことである。このようなことがデザインの面白さ、モノ作りの楽しさなどと深いつながりを持っていることを伝えていきたい。

・全体において

この学年は、2年生、3年生と学年超えての交流があり密であり、学園祭なども4年生が軸となって、2年3年を引っ張っていくという微笑ましい雰囲気が感じられた。

2023 年度 卒業生アンケート結果へのコメント

コース名： ファッションビジネス・マネジメントコース

担当者： 鈴木康久

本年度のコース学生の総合満足度評価は 4.12（全 25 名回答）となっており、同ビジネス系別コース比 +0.56、全体平均比 -0.09 という結果となっている。

コースとしては学生によるコース選択とその学修結果を示す二つの設問に注視したい。その設問となる「専門科目における知識・感性・技術の修得」で 4.20、また「専門科目の教員の授業・指導」で 4.20 となっており、同ビジネス系別コースで各々 4.00、3.83 と比較し相応に評価できる結果となっているが、一方で、造形系コースの専門性の強い縫製技術修得とは異なるビジネス系コース特性はあるが、総平均となる各々 4.39、4.27 と比較すると、やや低めの数値を示しており、今後更なる向上に努める必要がある。

次に実践学を追求するコース特性のため実企業との接続性を担保したカリキュラム構成となっており、そのため実企業の求める能力育成が目標のひとつとなっているために、コースでは常に就職率に注視している。これに関連する、本アンケート内における設問では、「就職活動に関して本学の指導は行き届いていましたか」の結果に注視したい。回答結果は 4.16 と全コースで最も高い数値を示せており、相応の結果を示せているが、一方で全コース平均数値は 3.84 とかなり低い数値を示している事は就職に向けた本学全体の学生満足度の低さを表しており、この結果については本コースとしても真摯に受け止める必要があると考える。

また、本コースでは資格取得（検定試験）を強く学生達に推奨し、カリキュラムとの連動制を年々高めている事が奏功し、販売能力検定およびビジネス能力検定について一定の結果が示せている。本アンケートの設問では取得した等級把握は出来ないが、今後取得等級の更なる向上に努めていきたい。

総体的には、設問「学生生活で力を入れたもの」の回答に対して「学業」が 84.6%と高い数値を示しているが、一方で二番目に「アルバイト」が 51.5%となっており、この高い数値は経年変化で見ても本年度の数値は高く、学生の 1 日のタイムスケジュールの繁忙さを表している。今後提供していくカリキュラムや各種指導機会については、より一層高い効果を目指しつつ、かつ効率性の追求も目指して行く必要があると考える。

また、クラブ・サークル活動への参加は 2.2%と過去 8 年統計内で最も低い数値となっている。大学生活全体の潤いや満足度を高めていく上で、このような学外活動や他大学学生との交流機会の創出、また他学年、他コース生との交流機会の創出は急務と考えられるため、コースとしても改善に向けて善処したい。

2023年度 卒業生アンケート結果へのコメント

コース名： ファッションビジネス・流通イノベーションコース

担当者： 五月女由紀子

今年度の卒業生アンケートを全体数値から見ると、ほとんどの項目が前年より満足度が上がっていることがわかる。内容としては「授業に関して」と「事務局の対応について」の両面で数値が上がっている。また一番力を入れたことは「学業」が84.6%と高く、次いで「資格修得」「コンテスト」など、昨年度の学生と比較して、本来の大学生としての生活をしっかり送れたことが感じとれる。また、コロナに関する大学の対応についても適切と考えている。この学年は入学時からコロナによる影響が大きかったが、本学が早くから対面授業を多くしたことや、大学生活の後半で取り戻すような生活ができた結果と推察される。

一方で、コース別に見てみると、担任をしている流通イノベーションコースは全体の中で全て一番数値が平均より低く、またコース別での学生生活の満足度が最低である。これはコース主任として猛省をするべき点である。昨年度のアンケートで、卒論ゼミのあり方や指導に疑問がある指摘が多かったことから、深く練った改善案を提出した。授業の方法を前期から大きく変更をして計画的に進めていたが、今回の自由記述から読み取れるのは、担任が学生に寄り添う姿勢がまだ希薄であるという点である。これは卒論ゼミの授業評価アンケートでも指摘されていたが、教員が、能力的に一人で論文を書けない学生に対して個別対応の時間を偏って多く取ったことが原因と考えられる。優秀な学生たちは一人で進める事ができるため、自分は放置されていると教員の指導に不満を感じた結果ではないかと推察している。また、コースのカリキュラムに関して、主任の授業が2~4年の専門科目で少なく、特任教員と非常勤講師の比率が高いことも原因として否めない。2年から4年までの学生人数が多いため、全員まで主任の目が届かず、問題ある学生を中心に面談が行われた事も大きいと考えた。さらに、コースの教室環境が悪いことも記述されていたが、狭い教室にゼミの授業と教員の事務仕事場と全てが混在しており、コミュニケーション空間としても良くなかったと思う。ゲスト講師が多いことで授業内容の被りが多いことも指摘された。以上の点から、コースカリキュラムを斬新に構築しても、そのコンセプトを学生に伝えることができず、コースの軸がぶれた状態で、深く指導できなかった事に今後の課題があると猛省している。来年度に向けては、専任教員二人による、新しい指導体制を予定している。コース専門科目の外部講師の割合を減らし、専任教員がしっかり教えることとなった。また教室レイアウトも変更する。学生への対応に不満がないようにすること、また何をこのコースで学ぶのかを主任の口からしっかり指導をするように務めていきたい。そうすることで、学生生活の意欲や満足度の向上、就職活動の意識向上への改善となると考えている。

令和5年度 大学FD研究委員会（順不同）

肉丸美香子（委員長）

北折 貴子（学部長）

水野真由美

水上 雅子

梅谷 知世

井口 多恵子

水越 綾

山川 智子

山田奈緒子

『令和5年度 卒業者に対する在学期間中の学生生活についての調査結果報告書』

編集・発行 杉野服飾大学 大学FD委員会研究委員会

発行日 令和6年3月19日